

自然大好き ねいの里だより

65

アマガエル

里山の田んぼに水が入ると、一斉いっせいに鳴き出す生き物がいます。大合唱だいごうしているのは、ニホンアマガエル。私たちの身近にいる小型の両生類りょうせいりゆうです。

両生類りょうせいりゆうは、幼生ゆうせい（オタマジャクシ）の時には水中に住み、成体せいたい（カエル）になると陸に上がる「水陸両用」の生き物です。ところで、アマガエルのオタマジャクシは個性的こていせき。

オタマジャクシは個性的

他の種類しゅるいに比べ、目が離れはなれていてとても

チャーミングなので、チャンスがあつたらぜひ観察くわんさつしてみてください。

カエルになると周囲しゅういの状況に合わせて体の色を変えるので、黄緑色おうりょくしきでないものを別の種類しゅるいと想おもう人もいるくらいです。よく似たカエルに、シュレーゲルアオガエルやモリアオガエルがいますが、アマガエルは鼻はなから鼓膜こまくにかけての黒い線せんや小さな体たいが特徴とくちょう的てきなので、観察する時はそこに注意ちゅういしてください。



灰色はいしきになったニホンアマガエル。周囲しゅういの状況じょうきょうに合わせて体の色しきを变かえる